

是非おすすめいたします。

本種は、戦後青森県リンゴ試験場から発表された品種で、品種登録されております。両親はゴールデンデリシャスとデリシャスで、色は黃金色、形はゴールデンよりやや小型であるため小型ゴールデンと呼ばれております。この品種は、ゴールデンの最大欠点といわれている薬害がないものを求めている傾向にありますので、黄色リングの一つとしても増殖すべき品種です。青森の南部地方から岩手県にかけて逐次増殖されつつ有ります。

ターキングデリシャス

本種は、現在リンゴ界の女王として急速に増殖されております。このリンゴは、デリシャスの枝變りで、着色はさわめて良く、デリシャスに比較して二週間位早い。色は暗濃紅色で全面覆われ、風味極めて良く、高級リンゴの主要な位置をしめております。暖地産のものは大果ですが、貯藏力に欠け、北海道のような冷涼地で生産されたものは、形こそ小さいが貯藏力に富んでおります。同系統のリチャードデリシャスは、全面見事な紅色で覆われ、北海道ではむしろこの方が成績が良いといわれている地方もあります。両者共まだまだ増殖されしきるべきでしょう。唯、青森県等では着色が早いため、完熟せぬ内に早もぎする傾向があり、このような事はかえつて声価をおとす事になります。

ツドゴールド

本種は戦後、大変な評判の下に米国より輸入されたもので、ゴールデンデリシャスの実生ともいわれております。形は紅玉に類似し、大きさは四十匁位です。色は全面輝かしい紅色で覆われ、風味と香味は、丁度ゴールデンとスター・キングを混和したといった方がピッタリする位で、品質優良です。結果期に達する事早く、而も樹勢強健、結果性も良く、年々豊産です。このリンゴは、熟期は丁度旭と紅玉の中間に

スター・キング・デリシャス

本種は、既在リンゴ界の女王として急速に増殖されております。このリンゴは、デリシャスの枝変わりで、着色はきわめて良く、デリシャスに比較して二週間位早い。色は暗濃紅色で全面覆われ、風味極めて良く、高級リンゴの主要な位置をしめております。暖地産のものは大果ですが、貯藏力に欠け、北海道のような冷涼地で生産されたものは、形こそ小さいが貯藏力に富んでおります。同系統のリチャードデリシャスは、全面見事な紅色で覆われ、北海道ではむしろこの方が成績が良いといわれている地方もあります。両者共まだまだ増殖されしかるべきでしょう。唯、青森県等では着色が早いため、完熟せぬ内に早もぎする傾向があり、このようないい事はかえつて品価をおとす事になります。

紅

玉

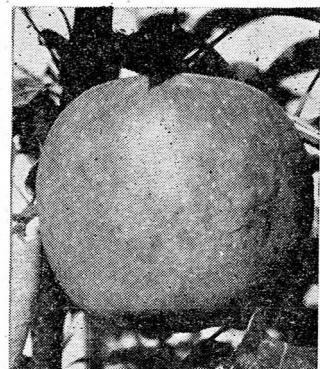
本種は、既在リンゴ界の女王として急速に増殖されております。このリンゴは、デリシャスやの枝変わりで、着色はさわめて良く、デリシャスに比較して二週間位早い。色は濃赤紅色で全面覆われ、風味極めて良く、高級リンゴの主要な位置をしめております。暖地産のものは大果ですが、貯藏力に欠け、北海道のような冷涼地で生産されたものは、形こそ小さいが貯藏力に富んでおります。同系統のリチャードデリシャスは、全面見事な紅色で覆われ、北海道ではむしろこの方が成績が良いといわれている地方もあります。両者共まだまだ増殖されしきるべきでしょう。唯、青森県等では着色が早いため、完熟せぬ内に早もぎする傾向があり、このよう

レッドゴールド

本種は戦後大変な評判の下に米国より輸入されたもので、ゴールデンデリシャスの実生ともいわれております。形は紅玉に類似し、大きさは四十又位です。色は全面輝かしい紅色で覆われ、風味と香味は、一度ゴールデンとスタークリングを混和したといった方がピッタリする位で、品質優良です。結果期に達する事早く、而も樹勢強健、結果性も良く、年々豊産です。このリンゴは、熟期は丁度旭と紅玉の中間に位置する。

ジョナレット

アーリエスト キング等が出荷されている頃で余り良質なリンクの無い物ですので、ある程度作られると面白いくらい思います。寒いところでは割に貯蔵もでき、風味が優秀なので栽植されつつあります。



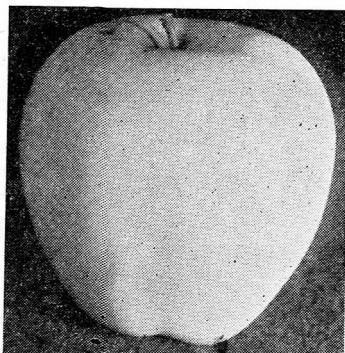
レッドゴールド

五

力に富み、翌年の六月頃まで食用に供する事が出来ます。

五

易い「リンゴ」として全国的に紅玉と共に栽培されています。熟期は最も晚熟で、雪の降る時に収穫されるというところから雪の下トと名づけられました。本種は、北海道の北空知以北でも作りやすい「リンゴ」として相当栽培されていますが、この地帯では耐寒力弱く、また果実も小型で味が十分に出ないので市場価値が劣ります。むしろ後で説明いたします旭の方へ栽培の重点を移行した方が良いでしょう。但し適地においては、年々高産しかも貯蔵力大で作りやすい「リンゴ」としてまだまだ増殖される事でしょう。この「リンゴ」も国光一一二系等というように着色の良い系統が最近用いられて来ました。弊社でも着色の良い系統を選択して育苗いたしておりますのでご用命下さい。



陸 奥

号があります。

ドバーード等ありそれぞれ特色があります。新しい品種としては、青森県リンゴ試験場で育成した陸奥は、形が頗る大きいので、特殊の用途に用いるならば、その特味を大いに活かす事が出来ます。

匹敵するものは無いので、肥培管理に注意すれば、良好な成績を挙げることが出来ます。熟期は八月下旬から九月上旬です。

つたところでは「紅生娘」があります。生娘の枝変わりで着色よく、三倍体のリンゴでありますので樹勢をもて旺盛です。栽培にあたつては、栽植距離を広く取つて下さい。欠点としては隔年結果性の強いことで、品質は大変良くこの時期には、この品種に

しい味です。無袋栽培ではなお一層その特性を發揮いたします。現在北海道特に北部地方において、急速に増殖されつあります。

これらの外に中生としては祝（一四号）があり酸味の少ないので七月に入れば収穫販売されておりますが、本種もやはり八月末から九月始めに収穫すべきでしよう。変

東北三号は、青森県藤崎町にある東北農試園芸部にて紅玉×ウォスターべアメイの交配組合せにより育成されたものです。形は扁円形で満面紅色に覆われ、大きさは中位です。酸味少なく、紅玉の様な芳香を有し、果汁の多いリンゴで、収穫時は青森では九月上旬から中旬で、この時期に出荷されております。貯蔵力は三週間位で、樹勢強健、豊産です。

尚本秋取扱います品種の特性と価格は別表の通りです。